

秩父市健康づくり計画 健康ちちぶ21 (第2次)



(1) 計画の基本理念

市民一人ひとりがいつまでも健康を実感しながら、生き生きとした生活を送ることができる『健康長寿 秩父』の実現を目指します。

(2) 計画の基本方針

本計画は、国の「健康日本21 (第二次)」及び県の「健康埼玉21」との整合性を図り健康長寿の実現に向け、5つの柱(①健康寿命の延伸、②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、③栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙および歯と口の健康に関する生活習慣の改善、④社会生活を営むために必要な機能の維持および向上、⑤健康を支え、守るための社会環境の整備)を基本方針とし施策指標を定め、具体的な取り組みを推進するものです。

(3) 計画の期間

H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
健康ちちぶ21 (第2次) < H26~R5 (10年間) >									
☆中間評価					★最終評価				

本計画は令和6年3月に10年間の計画期間が終了となるため、令和5年度に最終評価を実施しました。

(4) 健康ちちぶ21 (第2次) の最終評価

① 健康寿命の延伸

目標指標	目標値	最終評価	判定
健康寿命	男性 17.57年 女性 20.60年	男性 17.91年 女性 20.81年	達成

② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

目標指標	目標値	最終評価	判定
がんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性 150.3人 女性 76.2人	男性 151.5人 女性 82.5人	改善傾向
脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性 58.7人 女性 30.9人	男性 37.1人 女性 20.3人	達成
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	0.6%	—	指標定義の変更に伴い、判定できず

③ 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙および歯と口の健康に関する生活習慣の改善

分野	施策指標	目標値	最終評価	判定
栄養・食生活 秩父市 食育推進計画	うどん・そば等の汁を半分残す人の割合の増加	80.0%	65.0%	改善傾向
	減塩を意識する人の割合の増加	90.0%	78.2%	改善傾向
身体活動 運 動	意識的に身体を動かす人の割合の増加 (※)	① 20~64 歳		
		男性 71.3%	男性 66.0%	未達成
		女性 62.2%	女性 55.8%	
		② 65 歳以上 (※)		
		男性 96.4%	男性 79.2%	未達成
		女性 97.1%	女性 82.2%	
休養	睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少 (※)	15.0%	36.8%	改善傾向
飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	男性 15.4% 女性 4.3%	男性 11.5% 女性 5.0%	改善傾向
喫煙	成人の喫煙率の低下 (※)	12.0%	11.2%	改善傾向
歯と口の健康	過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加	65.0%	57.7%	改善傾向

④ 社会生活を営むために必要な機能の維持および向上

「こころの健康」「次世代の健康」「高齢者の健康」の取り組みは、③の表 (※) となります。

⑤ 健康を支え、守るための社会環境の整備

施策指標	目標値	最終評価	判定
「健康ちちぶ21」を知っている人の割合の増加	70.0%	34.3%	改善傾向

◇食育の推進【秩父市食育推進計画】

食育基本法に基づき、食育の「実践」を通して、生涯にわたり人間力の向上を図るための指針として策定するものです。「健康ちちぶ21（第2次）」の栄養・食生活の内容と関連づけています。

施策指標	目標値	最終評価	判定
朝食を欠食する人の割合の減少	0%	7.7%	改善傾向
栄養のバランス等を参考にメニューを考えている人の割合の増加	95.0%	84.9%	改善傾向
家族等と一緒に食べる「共食」をする人の割合の増加	100%	87.5%	未達成

(5) 健康ちちぶ21（第3次）について

次期計画の健康ちちぶ21（第3次）は、これまでの基本理念を継承し市民が主体的に健康づくりに取り組めるように、市民、地域、行政が一体となって計画を推進することを目指します。

健康ちちぶ21（第3次）の計画は、令和6年4月以降、市のホームページに掲載予定です。